

📷 7月定例会のご案内

「勉強会」他

7月はZOOMにもどっての定例会になります。

主な内容は以下になります。

・インボイス制度について

2023年10月から導入されるインボイス制度、「自分には関係ない」と思ってはいませんか？税理士さんをお招きする予定ですので、「自分には関係あるの？ないの？」など質問をご用意ください。事前に下記動画をご一読していただくことより理解度が深まりますので、ご覧下さい。

<https://www.youtube.com/watch?v=A-uZh9UDItY&t=626s>

・ネット決済（LinePay他）を使った集金方法

複数のお客様からの集金方法で、集金袋を使っている会員が多いと思います。お客様からの要望もあるようなので、ネット決済を利用した方法について意見交換をしたいと思います。

- ・上河さんのレベルアップ講座
引き続き、マーカーなどのガイドを使っ
ての「気持ち良い」構図についての講座です。

次回定例会は

2022年7月13日（水）19時～21時

勉強会のネタ（募集中です！）

- ・ビデオの事業継承・後継者について（赤岡）
（会員個人の場合とビズネット全体の場合含めて）
- ・ホールを借りて音声収録（菅澤）
- ・ネット配信のやり方（赤岡）
- ・後悔しない機材の選び方（脇田）
- ・ICレコーダーの設定方法（脇田）
- ・スイッチングとパラ撮影（脇田）
- ・LINE Payなどの集金袋以外の決済方法（近藤）

👥 6月定例会のご報告

「映写会」

6月映写会参加者

吉岡、近藤、高橋、佐藤、上河、皆越、野上、脇田

大船のあっぷるこあ教室で、久しぶりの顔をあわせてのオフラインでの映写会を開催しました。

吉岡「高校吹奏楽」4K切り抜きで編集。メイキングに映画的な21：9の比率の映像を入れて工夫した。

近藤「学会研究用に小学校の教室で撮影」音をしっかりとる工夫や、モザイク処理した。

「講演会」プロジェクターの映像をきれいに残すため工夫した。

佐藤「プール付住宅のプロモーション映像」見た人に素敵！と思ってもらえるよう工夫した。

「建築現場の完成までの流れ」タイムラプ

ス的な手法も使ってわかりやすく作った。

高橋「幼稚園謝恩会」謝恩会は卒園児の表情がたっぷり撮れるチャンスなのだが、会場が暗い場面では映像にノイズが多い。編集処理でどれくらい改善されるか試してみた。

上河「ピアノ演奏での撮影見本」レベルアップ講座で解説した＜気持ち良い画角＞を実際の作品で見てください。

脇田「高校吹奏楽と幼稚園おゆうぎ会」スイッチング撮影に挑戦しました。

映写会のあとは、大船駅東口に会場を移しての二次会となりました。以上敬称略 文責：脇田

✍️ 会員コラム

吉岡さん「よっしーの妄想が捗ります」

（文責各筆者）

よっしーの 妄想が捗ります (3)

合唱などのパン

※個人的な見解。半分くらいは合ってると思います。ご意見、ご指摘、お待ちしております。

アソシネット株式会社 吉岡

2022年6月15日

合唱コンクールとか、卒業式とか、ひな壇に並んで歌を歌うときって、だいたいパンをして、全員を撮るじゃないですか。

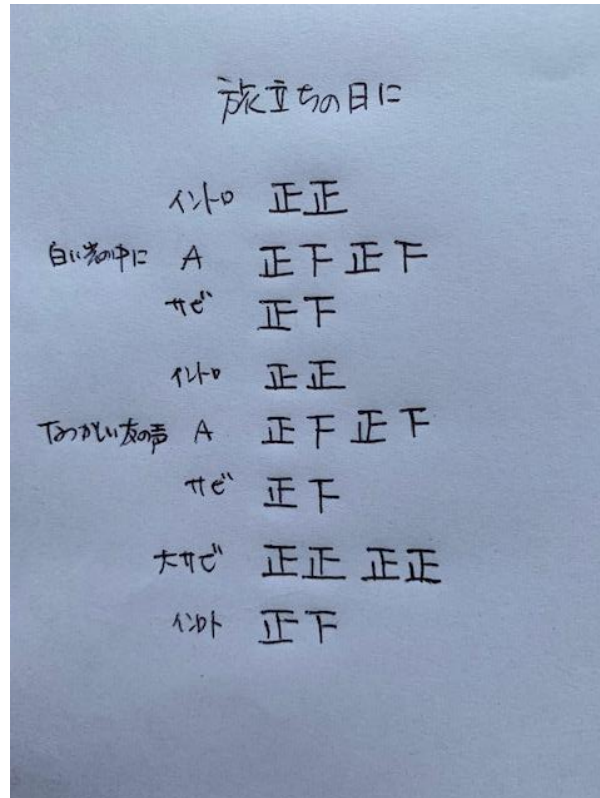
機会があると、いつも話をしてるんですが、あらかじめ歌が分かっているとき、自分は、その曲が何小節あるかメモって、あらかじめ、どう撮るか計画を立ててます。まあ、計画を立てるってほどのことでは無いけど、全体のパンを2回か3回か、って感じなんですけどね。

この原稿を書いているのが、卒業式のシーズンなので、「旅立ちの日に」を例にしましょうか。

書く時のルールは、こんな感じですかね。

- ・小節を数えて「正」の字で書く。
- ・イントロ(伴奏)の部分も書く。
- ・盛り上がる部分(サビ・大サビ)は、わかるようにしておく。
- ・歌い出しも、できれば、書いておく。

で、書いたのが、次のページです。



これだけで、歌が聞こえてきませんか？ (笑)

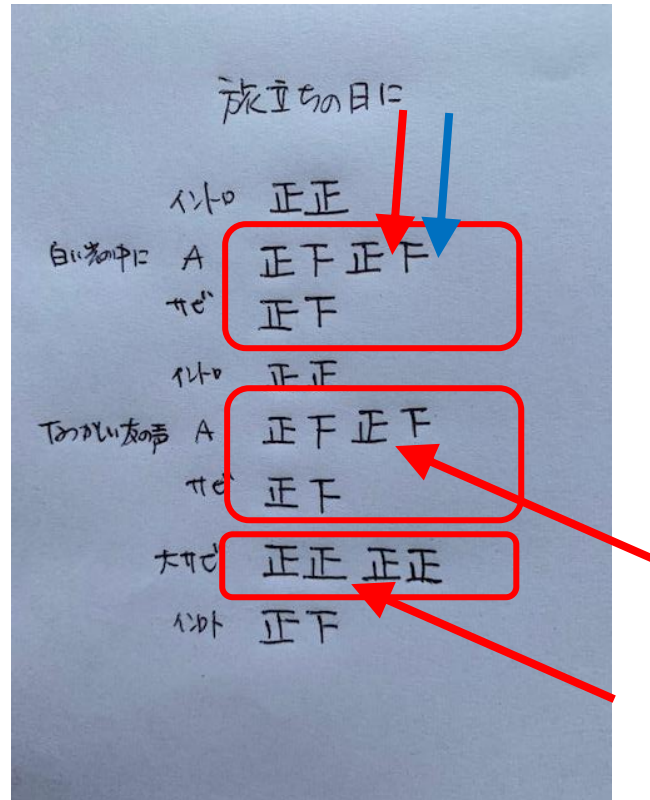
カメラワークの計画としては、

- ・最初、全体を映しておいて、イントロが始まったら、下手(しもて)に寄る。
- ・1番の歌詞、1回パン。イントロの間に引きながら、下手に寄る。
- ・2番の歌詞、パン。2番から大サビには、イントロがないので、ちょっと早めに終わらす。
- ・大サビは一番盛り上がる場所なので、最後にきっちりパンを決めたい。時間は短いので、ちょっと引き気味にする。
- ・最後のイントロで、引いて全体を映す。

でも、なかなか、計画通りには いかないんだけどね。最後のイントロで、セリフが入ってきたりね。マジかっ!?! ってなる心を抑えて、冷静にズームアウトする。

いずれにしても、この、何小節かを書くことの良さって、「真ん中が分かる」ことなんです。

どういうことか と言いますと、



それぞれの真ん中っていうと、赤矢印あたりで。

この矢印のあたりに、実際にパンで撮影していて、ひな壇の人たちの真ん中がくる(カメラが真正面を向く)ようにしていれば、スピードの調整が利くってわけ。

実際は、パンの始めは、下手の人を少し時間をかけて撮るので(1~2小節くらい)、実際の真ん中は青矢印くらいにずれてくるんだけど、それでも考え方は一緒で、

1回目の真ん中はサビの頭。今、やってるパンのスピードが、サビの頭で演者の中央に合っていれば、そのままのスピードで継続すればいいし、過ぎたり足りなかったりしたら、パンの後半で調整すると良い。

2回目も同様ですが、大サビへとつながるところはイントロがないので、ちょっと早めに終わらせ、大サビの頭に合わせる。1回目は、サビの頭が真ん中ならちょうど良かったけど、2回目はサビが真ん中だと、ちょっと遅いのだ。どちらかという、大サビの方をきっちり合わせたいしね。

「過ぎたり足りなかったりしたら、パンの後半で調整」ってのもミソで、時間は十分にあるので、ごまかしてると思われなところか、きっちりと収めてる、さすがはカメラマンさんね!と思われるのだ。たぶん。

「真ん中がわかれば、後半でごまかしが利く!」名言かもしれん。だまされたと思って、やってみてくださいね。慣れると、吹奏楽とかでも、ごく自然に、曲に合わせて、パンの真ん中を意識したパンができるようになると思います。